

2 学年数学科 ガイダンスシラバス

教科担当 友部勝規 玉城樹 高橋靖典

1. 数学を学ぶねらい

基本的な計算技能の習得はもちろん、数学的活動を通して物事を筋道立てて考えるという「論理的思考力」や「自分で最後まで考え抜く力」を養う。

また、問題を解いたときの達成感や自分なりの解法を発見したときの喜びを感じさせる。

2. 学習方法

1. 授業中

50分集中して授業に取り組むことが大事です。

板書をそのまま写すのではなく、自分で先生の言葉をノートにメモすることも大事です。また、グループ学習では積極的に教え合うことも大切です。

わからないところは先生に質問して、疑問のままにしないようにしましょう。

2. 自宅学習

数学は日々の積み重ねが大事です。1日1問でもいいので毎日ワークなどで問題に取り組むように心がけましょう。

3. 持ち物、忘れものなどについて

持ち物については、基本は ①教科書 ②ノート ③問題集 ④筆記用具 ⑤定規

※関数や図形の授業の場合、定規の他にコンパス・三角定規が必要です。

4. 学習の評価内容と評価方法

1 「知識・技能」

数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

評価方法[定期考査、小テスト、ワークシート等]

2 「思考・判断・表現」

数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。

評価方法[定期考査、小テスト、ワークシート等]

3 「主体的に学習に取り組む態度」

数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。

評価方法[ワーク、自己評価カード等]

5. 先生からのアドバイス

授業の50分はしっかり集中しましょう。

数学は自分の力で考えることが大切です。授業に積極的に参加し、疑問に思ったことは遠慮せずに質問しましょう。問題集やテストで、できなかったものはそのままにせず解き直しをしましょう。

特に問題集のわからない問題はただ解答を写すだけでなく、内容の理解に努めましょう。問題練習では答え合わせをした後、間違いの原因を考えて、次はできるようにしましょう。

6. 数学科 年間学習計画

学期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法
1	4	1章 式の計算 ・式の加法、減法 ・いろいろな多項式の計算 ・単項式の乗法、除法	代表値や資料の散らばりに着目し、資料の傾向を読み取ることができる。	・授業の取組 ・定期考査 ・各提出物
	5	・文字式の利用 2章 連立方程式 ・連立方程式とその解	・単項式・多項式の計算の意味を理解し、簡単な計算をすることができるようになる。	
	6	・連立方程式の解き方 ・連立方程式の利用	・目的に応じた式変形や利用ができるようになる。	・授業の取組 ・定期考査 ・各提出物
	7	3章 1次関数 ・1次関数 ・1次関数の値の変化	・連立方程式とその解の意味を理解し、解くことができる。 ・連立方程式を利用して、問題を解決することができるようにする。	・授業の取組 ・定期考査 ・各提出物
2	9	・一次関数のグラフ ・一次関数の式を求めること ・方程式のグラフ ・連立方程式とグラフ		
	10	・一次関数の利用 4章 図形の調べ方	・平行線や多角形の角の性質を理解し、問題に活かせるようになる。	・授業の取組 ・定期考査 ・各提出物
	11	・角と平行線 ・多角形の角	・証明の必要性和その意味を理解し、基本的な証明ができるようになる。	
	12	・三角形の合同 ・証明とそのしくみ ・合同条件を使った証明の進め方	・三角形の合同条件を理解し、証明問題に活かせるようになる。	
3	1	5章 図形の性質と証明 ・二等辺三角形 ・直角三角形の合同	・三角形や平行四辺形に関する様々な性質や定理を理解し、問題に活かせるようになる。	・授業の取組 ・定期考査 ・各提出物
	2	・平行四辺形の性質 ・平行四辺形になるための条件 ・特別な平行四辺形 ・平行線と面積		
	3	6章 データの活用 ・データの散らばり ・データの傾向と調査	・「四分位範囲」「箱ひげ図」で資料の分布の様子を知ることができる。	・授業の取組 ・定期考査 ・各提出物
		7章 確率 ・起こりやすさと確率 ・確率の求め方 ・いろいろな確率 *弾力的運用の時間(3h)	・確率の意味を理解し、求めることができる。 ・確率を用いて不確定な事象を説明することができる。	

